

生野高校写真部の

まつばら探訪  
どこIKUNO

Report ③



生野高校写真部の生徒が松原市の各所を訪ね、その現状や魅力を発信する「まつばら探訪」。

第三回目は、西野々にある写真スタジオ「TACT Photo studio」の花森広社長とコピーライターの松岡理絵さんに「広告を飾る言葉の大切さ」について伺いました。

▼問合せ 秘書広報課(☎334・1550代表)



Photographer & Copywriter

# 広告をつくる



私たちがスタジオに到着したのは午後4時過ぎ。ご挨拶もそこそこに、早速スタジオ見学。そして矢継ぎ早に、撮影体験へと進んでいきました。というのも、今回の探訪の目的は、「広告はどうやって作られるのか?」を学ぶことでした。そのため、映像と言葉のプロであるカメラマンとライターにお話を伺うこと、さらに私たち自身で広告を作ってみる、という二つの課題があったので、あまり時間がなかったのです。

てくださいました。

花森社長のようなプロでも緊張されるなんてちょっと意外……。でも考えてみると、プロとアマチュアの違いは「仕事に対する責任感」かもしれません。お金を頂戴する以上、絶対失敗はできない。だからこそ、徹底的に準備を怠らない。それはどんな仕事でも、プロを名乗る以上は同じだと思います。

せっかくなので、写真が上手くな



花森社長より撮影のコツを真剣に聞いている

るコツもちゃっかり聞いてみました。「今は、スマホを皆が持つてる時代だから『1億2000万人総カメラマン』(笑)。写真を撮る敷居は、すごく低くなったけど、日々努力して良い写真は追求し続けるのは実は大変なこと。センスを磨くには、写

「とにかく『文章であおらず、誠実に書くこと』が大切ですね。読み手に嘘をつかないように言葉を選ばなければいけません。それからやっぱり下調べは大事です。例えば、ある専門家の先生に取材に行く場合には、その分野について事前にもこちらも徹底的に勉強します。取材をさせてもらう者としての当然の礼儀だし、質問することの深さにも関わります」

ああ、やっぱり事前準備がプロとして大事なんだ、と改めて認識。先ほど花森社長も同じ事をおっしゃっていました。でもどんな風に使う言葉を選ばれるのでしょうか。

「最初、雑誌の記事を書く仕事に就いてやったことが、トレーニングになりましたね。お好み焼き屋さん30件回って、書き分けるとかね(笑)。どうしても味の特徴だけでは違いが出ませんから、お店の歴史とか、店主さんの人柄とか、切り口を変えたりして……」

真そのものももちろん、それ以外のアートや文学に触れる努力をしてください。日常的に、街や人を観察して、知らない人と話すと刺激になっていいですよ」

そうか、まだ写真のこと、わからないことだらけだけど、さまざまなものに刺激をうけて自分がちよつとずつ変わっていけば、写真も変わってゆくのかな。何だかものすごく共感できるお話でした。

## 事前準備のおかげで深みのある文章が生まれる

次に、コピーライターの松岡理絵さんにお話を伺いました。まず教えていただいたのは、「一番気をつけて

いること」です。「とにかく『文章であおらず、誠実に書くこと』が大切ですね。読み手に嘘をつかないように言葉を選ばなければいけません。それからやっぱり下調べは大事です。例えば、ある専門家の先生に取材に行く場合には、その分野について事前にもこちらも徹底的に勉強します。取材をさせてもらう者としての当然の礼儀だし、質問することの深さにも関わります」

ああ、やっぱり事前準備がプロとして大事なんだ、と改めて認識。先ほど花森社長も同じ事をおっしゃっていました。でもどんな風に使う言葉を選ばれるのでしょうか。

「最初、雑誌の記事を書く仕事に就いてやったことが、トレーニングになりましたね。お好み焼き屋さん30件回って、書き分けるとかね(笑)。どうしても味の特徴だけでは違いが出ませんから、お店の歴史とか、店主さんの人柄とか、切り口を変えたりして……」



これは写真の作品作りでも大事ななあとしみじみと感じます。そして私たちが作品づくりをする上で、いつも悩むのがタイ

トルです。そこで、うまく言葉が見つからなくて困ることはありませんか、と尋ねてみました。「もちろんありますよ。でもそういう時は、無理に言葉をひねり出そうとせず、いったん時間を空けて、ポーンとしてみると、頭が切り替わり、新たなひらめきが生まれてくることが多いですね」

なるほど、今私たちに必要なのは、実は、そんな「ポーンとする時間」なのかも。少しでも時間があればスマホをいじってしまっている私たち。隙間を埋め過ぎてしまうことで柔軟な発想やひらめきが失われているとしたら怖いことです。

最後に、「文章を書くスキルを上げるのにオススメの方法はありますか」と質問してみました。松岡さんは少し考えて、「そうですね。好きな作家やライターの文章を書き写してみ、体に文体を染み込ませるといいですよ。それから、普段何気なく読んでいる本や雑誌にも、必ずライターの努力が詰まっていますので、文章をよくかみしめて読んでみてください」

## プロだから徹底的に準備しお客さんの要望に叶える

一通り撮影が終わった後は、まず花森社長に、広告カメラマンの仕事についてお話を伺いました。「何と言っても、お客さんの要望をちゃんと叶えることが第一。お客さんがいてこそその仕事やから、どうすればその商品が魅力的に写るかを考えて撮影します。だから、自分が撮った写真がカタログや雑誌に載って、『この商品売れましたよ』とお客さんから言ってもらえた時が一番嬉しいね」

なるほど、これぞ広告写真に携わるプロの心意気だと感じました。「でもね、今も撮影の前には、上手く撮れるか、準備は大丈夫か、とか、色んなプレッシャーがかかって、緊張します。だからこそ、入念に準備をしっかりとって、撮影のシミュレーションをするんです」

コロナ感染対策で皆がマスクをしながらの取材。表情がマスクで半分以上隠れているのですが、それでも花森社長と松岡さんの仕事に対する信念や熱意がひしひしと伝わってきました。ふだん何気なく目にしていく広告や雑誌の裏側には作った人の工夫や技法がぎゅぎゅ詰まっていることが、今回の取材でよく分かり、本当に貴重な体験となりました。

記事担当…写真部74期 奥村昂平  
北田智士  
75期 寺田 諭



松岡さんから広告を飾る言葉の大切さを学ぶ

# 広告の

# 奥深さを知る



**一筋縄ではいかない！  
試行錯誤を重ねた撮影**

広告が出来るまでのさまざまな工夫について聞かせていただいた後、試しに一度、自分達で広告を作ってみることにしました。問題はテーマの設定。議論をするうち、コロナ禍の中、ソーシャルディスタンスをとりつつ、いかにコミュニケーションを保つかを考えて、「糸電話」をモチーフにしたアイデアが浮かんできました。

幼い頃、誰でも一度は作って遊んだことがある、元祖LINEとも言える「糸電話」。まず、どのような写真を撮るのかある程度決めておかなければ、セットの用意ができません。フォトスタジオには、背景、大道具、小物など、実にさまざまなものを用意されています。まずみんなが背景選びをしました。どんな色がいいか悩みましたが、黄色と青、白の三つの色にしました。すると社員のカメラマンさんが稼働壁を運んできてく



脚立に登り、高所から撮影する2年生

れて、小部屋のようなものがすぐにできました。その方がいいわく、カメラマンになるには何より体力が必要とのこと。お話をうかがうまで、カメラマンには写真を撮る技術しか要らないと思っていたので、体力に自信のない女性カメラマンは大変だなど思いました。

いよいよ撮影に入ります。ソーシャルディスタンスをとるために2人が階段の上と下に分かれ、糸電話で会話をしている写真を撮りました。撮影前のイメージでは、モデルがポーリングや背景を決定し、それをカメラマンが撮影するものだと

思っていました。しかし実際は逆で、カメラマンが主体となって、モデルに指示を出しつつガンガン撮っていきます。「なんか暗いなあ」「あれ半目になってる」「画面角に収まれへん」「セットの外が写ってるやん」最初は失敗だらけ。しかし撮っているうちに気分がのってきて、「あー、もうちょっと右！」「笑顔笑顔!!」モデルと話しながら、アップで撮ったり、寝っ転がって撮ってみたり…。ああ、カメラマンってこんなイメージだなあ、としみじみ思いました。ホント楽しかったです。とはいえ難しい。明るすぎたり、暗すぎたり、



IKUNO HIGH SCHOOL PHOTO CLUB  
2020/07/08

何かを伝えることって、難しいけど、楽しいです



タイミングが合わなかったり…。私たち1年生と違って、先輩方は脚立に乗って撮っていました。あと普段はあまり見ない「本気の顔」をしていました(決して私たちがふざけてやっていたわけではありません。写真部の活動が始まったばかりで、ほぼ経験ゼロの無謀な撮影にどうすればよいかかわからず、無我夢中だったのです)。

## 完成まであと一歩 広告づくりの重要プロセス

撮り終えたら、写真のセレクトとレタッチです。撮影画像をパソコン

に取り込み、フォトショップという画像編集ソフトで、明るさや色みを適切なものに変えていきます。4人で写真を撮影したのですが、話し合いの末、その中のベストショット1枚を採用することにしました。そしていよいよ最後は文字入れです。キャッチコピーを考えます。文言そのものだけでなく、どんなフォントにするか、何色にするか、どこに文字を置くかなど、デザインも無限にあります。コピーライターの松岡理絵さんのアドバイスを思い出しながら、たくさんの人の印象に残り、なおかつ分かりやすいキャッチコピーを考えました。小説家のように自分の個性を前面に出せないからこそその難しさが、逆にとても面白いと思えました。

この写真部での活動を通じて、プロカメラマンとコピーライターという普通の高校生なら滅多に会うことのない人とお話することができ、また広告を作るということにも挑戦することができました。これからも、たくさんの人と出会い、お話しする機会があると思うと、とても楽しみです。

記事担当…写真部75期 古川歩佳  
奥美乃莉、北口笑梨

エンタ de マルシェ

まつばらのいろいろなグループのパフォーマンス動画を  
まつばらマルシェの開催期間中に  
まつばらマルシェホームページにUP!



第2回  
がんばる事業者応援クーポンとタイアップ!  
インターネットから注文でお取り寄せ  
マルシェの商品を **お得にGET!**

応援クーポン de マルシェ

お取り寄せ de マルシェ

インターネットからの注文で♪

**おうちにいながら マルシェ気分!**  
松原市内事業者の選りすぐりの商品を詰め合わせ  
マルシェ価格でお届け!



問合せ

まつばらマルシェ企画委員会(松原商工会議所内)(☎331-0291)

キャンペーンを活用して飲食をお得に!

国が実施する「Go To Eatキャンペーン」、大阪府が実施する「[少数利用]飲食店応援キャンペーン」、  
市が実施する「第2回がんばる事業者応援クーポン」は併用することが可能です。

ただし、ご利用を希望する店舗がそれらのキャンペーンの<登録店>であることなど、一定の要件が  
必要になりますので、ご利用の前に各店舗へ確認してください。

●問合せ GoToEatキャンペーン、「[少数利用] 飲食店応援キャンペーン」に関することは産業振興課  
(☎337-3112)、第2回がんばる事業者応援クーポンに関することは観光課 (☎334-1550)

GoToEatキャンペーンとは?

感染予防策に取り組みながら営業している飲食  
店および、食材を供給する農林漁業者を  
支援するためのキャンペーンです。



[少数利用]飲食店応援キャンペーンとは?

新しい生活様式の定着をめざして、4人以下  
の飲食など、条件を満たして飲食をした  
利用者にポイントを還元するキャンペ  
ーンです。



コロナなんか  
負けへんでっ!



今年のマルシェはインターネット!

第11回

まつばらマルシェ  
2020

開催  
期間

11月初旬~12月中旬(予定)

第11回まつばらマルシェ 2020は「3密」を避け、新しい形で開催!  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来型の中央公園およびその周辺施設で2日間に限  
定したイベントの実施は行いません。

まつばらマルシェのホームページ上から市内事業者の商品の購入ができる「お取り寄せdeマル  
シェ」、「応援クーポンdeマルシェ」の購入サイトを中心に、マルシェのわくわく感を出すとともにコ  
ロナに負けない元気なまつばらを演出するため、松原市観光親善大使のflumpoolや松原市ドリーム  
アンバサダー Dream Ayaさんの動画も配信を予定しています。

離れていても楽しめる「まつばらマルシェ」を展開します。

安心野菜 de  
マルシェ



とれとれ新鮮  
松原産野菜を  
インターネットから注文♪  
**超破格値セット 販売!**

まつばら愛っ娘  
松原育ち

アート de  
マルシェ

阪南大学生制作による  
**プロジェクション  
マッピング**  
をSNSで配信!



## 市内事業者の方などへ向けた各種給付金などの電話相談窓口を開設

行政書士が  
電話相談  
に応じます



無料相談の電話番号 ☎06-6943-7770 (通話料は利用者負担)

家賃支援給付金や持続化給付金をはじめ国の給付金などの申請方法や必要書類などを相談できます。

多岐にわたる給付金や補助金について、内容や申請方法がわからない、該当する制度がないかなど、お悩みの市内事業者や市民の皆さんは

気軽に相談してください。

詳細は市ホームページをご覧ください。



●とき 午前10時～午後4時(土曜・日曜・祝日を除く)、令和3年1月15日(金)まで

●問合せ 産業振興課(☎337-3112)

## 搬送用アイソレーター装置を整備します

新型コロナウイルス感染症の患者、または疑いがある患者を救急搬送する際、同乗する家族、救急隊員などへの感染防止策の強化として「搬送用アイソレーター装置」を整備します。

この装置は、収容カプセルの内部を陰圧にし、患者の呼気、飛沫に含まれる感染源の拡散を防止するとともに、内部の空気を殺菌装置を介して排出するため、感染症患者の安全な搬送を可能とします。11月運用開始予定です。

●問合せ 消防本部警防課(☎332-3103)



## 傷病手当金の適用対象期間延長について

給与などの支払いを受けている国民健康保険および後期高齢者医療制度における被保険者の人が、新型コロナウイルス感染症に感染したことなど(発熱などの症状があり、感染が疑われる場合を含む)により、勤務することができなくなった場合に、緊急的、特例的な措置として、それぞれの保険者から支給される傷病手当金の支給対象期間が変更となりました。

【変更前】令和2年1月1日～9月30日

【変更後】令和2年1月1日～12月31日

詳細はお問い合わせください。

●問合せ 国民健康保険については保険年金課(☎337-3123)、後期高齢者医療制度については医療支援課(☎337-3114)、大阪府後期高齢者医療広域連合 給付課(06-4790-2031)

## イベントの中止について

各中学校区地域教育協議会主催  
中学校区フェスタ



●問合せ 地域教育課  
(☎349-3273)

## こころの電話相談

新型コロナウイルス感染症に関する不安やストレスなどの悩みに対応するための相談電話をフリーダイヤルで行います。



【新型コロナこころのフリーダイヤル】

☎0120-017556

10月1日～令和3年3月31日 午前9時30分～午後5時(終日)

●問合せ 大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課(☎06-6691-2818)

## 特集3 新型コロナウイルス感染症関連情報

日々変化する新型コロナウイルス感染症の状況に対応するため、市でもさまざまな取り組みを実施しています。

ここでは市民の皆さんの暮らしに関する事など、新型コロナウイルス感染症に関する情報をお知らせします。

## 第2回 がんばる事業者応援クーポン11月中旬に全戸配布します

このクーポンは、市内の魅力ある商品やサービスなどを皆さんに知ってもらい、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた市内事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的としています。ぜひ、活用してください。参加店や特典内容などについては、配布されたクーポンをご覧ください。

●問合せ 観光課(☎334-1550)



▲第1回目のクーポン冊子

## 食事の宅配サービスを通じて子どもの見守りを行う法人への支援を実施します



コロナ禍で外出自粛が継続する中で、地域との関わりが減少し、子どもの見守り機会が減少しています。

子育ての不安感、負担感を持つ家庭が増加しているため、地域の見守りと宅配などの訪問支援を行う団体と連携し地域の見守りおよび支援を強化します。

●問合せ 子ども未来室(☎337-3118)



## がんばる多子世帯応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯の収入が減少している傾向にあることに加え、少子化が進む中、市内在住の18歳以下の子どもが8月1日現在で5人以上いる世帯に市内事業者の幸南食糧株式会社に協力いただき、お米(子ども一人当たり10kg)を贈呈することで、子どもを多く育てている世帯を応援し、家計の負担軽減を行います。

●問合せ 企画政策課(☎334-1550)

